



弓削商船だより

西垣 和書

第53号 平成14年7月

弓削商船高等専門学校

〒794 - 2593 愛媛県越智郡弓削町下弓削1000
TEL 0897 - 77 - 4620 FAX 0897 - 77 - 4693
ホームページアドレス <http://www.yuge.ac.jp/>



情報工学科平成13年度卒業生

目 次

校長巻頭言.....	1	新任教職員の紹介（田頭教官）.....	10
商船学科長抱負.....	2	新任教職員の紹介（庶務課長他）	
電子機械工学科長抱負		留学生紹介.....	11
情報工学科長抱負.....	3	新編入学生紹介	
総合教育科長抱負		クラブ活動成績.....	12
図書館長抱負.....	4	資格試験等合格者	
学生会執行部一覧，学生会長の抱負		各種資格試験の相談窓口.....	13
卒業式（M，I），各賞受賞者.....	5	学生相談室について（中村先生）	
I科卒業研究の香川大での発表，最優秀賞		級長，副級長（平成14年度前期）.....	14
入学式		校内役職者（学級担任以外），バイク講習会	
入学試験の状況，後援会長祝辞.....	6	瀬戸内2校定期戦	
新生オリエンテーションの感想		7～10月の学校行事.....	15
新担任の抱負.....	7		

校長巻頭言

得意を生かして自ら学ぶ

校長 西 垣 和

新学年が始まって早や1月半が経過しました。皆さんはそれぞれに充実した学生生活を送っているのでしょうか。“弓削商船だより”の編集委員長より1ページが与えられましたので、本年度の教育目標とこれに関連して、日頃考えていることを述べたいと思います。本年度の教育目標は次の3点です。



1. 自然科学および専門技術の基礎力を身につけ、高度化かつ多様化してゆく科学技術に柔軟に対応できる人材の育成。
2. 身の回りの諸々の現象、特に海をとりまく自然・文化・歴史に好奇心を抱き、多角的に考えたり調べたりできる、独創力のある人材の育成。
3. 日本および世界の文化や社会に関心をもち、国際的視野でものがみられ、しかも人間として、技術者として高い倫理観をもった人材の育成。

今日、科学技術は急速に高度化、多様化しており、私たちがとりまく社会も世界的な規模で大きく変化しています。また、人間性の欠如がもたらす深刻な問題も多くなってきています。高専の卒業生が、これらの変化に柔軟に対応できる教養豊かで独創力を有する実践的技術者として活躍することが強く望まれます。また高専には、これまで以上に、教育の質やレベルの向上をはかりつつ、競争的環境にあって個性豊かな存在たることも期待されています。

このような変化の速い時代に生きてゆく皆さんは、まず基礎学力・独創力・倫理観を身につけておくことが最も大切なことです。どんな技術でも

基礎科学の応用ですから、まず基本法則や原理など普遍的な学問を、十分に理解しておかねばなりません。また、独創力の涵養のためには、日頃から身の回りの諸々の現象、本校の場合は特に海とその周辺に関連する物ごとに関心を抱き、環境に恵まれた特徴を十分に生かして、自分の五感を鋭く磨いておくことが大切です。

基礎学力や独創力を身に付けることは、必ずしも容易なことではありません。これには地道な努力を要します。このために先生達は授業等において、いろいろと工夫されていますが、何といたっても、諸君に“自ら学ぶ姿勢”あるいは“自らを教育する姿勢”が備わっていなければなりません。教育は学ぶ者とこれを導く者との相互作用ですから、両者のベクトルの向きが一致して、はじめて良い結果が期待できるわけです。この観点からは教育の成果についても、両者が協力して考察してみることも必要です。実は、皆さんを指導している先生方も、教えることによって、毎日自ら学んでいるのですよ。

自ら学ぶことは、既存の知識を身につけるだけではありません。好奇心を抱いたり、疑問に思ったことを、進んで考えたり、調べたり出来る能力を身につけることも含まれます。とりわけ自分の得意・特徴は何であるかを発見して、これを磨き、伸ばして行くことによって個性豊かな技術者になれる訳です。一方、社会性や倫理観のような他者との関連による自己育成は、一人で努力しているだけでは不可能で、個性の異なる人たちの集団、良い寮生活やクラブ活動など、の中で初めて可能となります。

上述のような、いわば自己開発能力の育成は、人間にとって生涯の課題ですが、諸君のように若い時代に行うことが、特に効果的です。自分を磨くのは自分です。自らを高める努力が出来なくなった人は、たとえ若くても老化してしまっていると言えます。高専では、いろいろと学問を実践的に身につけることが出来ます。大いに利用して、得意を生かし自ら学ぶ学生生活を謳歌して下さい。

新年度の抱負

電子機械工学科長 鶴 秀 登

商船学科長 中 家 修

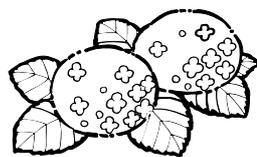
本校創立以来101年目の今年、商船学科も新たな気持ちで新入生を迎え入れることができました。私自身も新入生と同じように期待と不安を持って新学期を迎えました。



今まで商船学科卒業生は、世界の物流の中心的役割をなす海上輸送システム、なかでも、船舶運航技術者や、海事関連産業及び機械システムなどへ幅広く進出してきましたが、次の100年の始まりとなる今年、商船学科のスタッフは、良き伝統を踏まえつつ、時代の要請に応え、また、入学する多様な学生に応えるためにも、更に進出分野を広げ、入学した学生すべての者が、社会に貢献できる人材となるような教育を行わなければならないという共通認識を再確認しました。

私達は、学生諸君が、この自然環境豊かな弓削の地で自分の可能性を存分に育て、自身を磨き、他人を思い遣る心を育てるために、昔から言われている文武両道に励むことを期待しています。

教師と学生、相呼応してこれに取り組めば必ずよい結果につながります。私達は双方の努力によりすばらしい人材を生み出すことを実現可能なことであると信じています。努力しましょう。



厳しい経済情勢を反映して、高卒・大卒者の就職率の低下が問題になっています。高専卒業者の就職はまだ高率を維持していますが、ここ数年の電子機械工学科の就職先としては一流企業がやや減ってきたように思われます。一



方、大学編入学率は20%前後を保っています。このような状況の中で、5年間にわたる学生生活の過ごし方によって生じる学生の総合力の差と、それに起因する進路決定までの積極性の違いがはっきり見て取れます。進路をいち早く決定できる学生、自分の意志をはっきりさせられなくて就職をためらう学生、その結果として5年間の学生生活が実を結び喜んで卒業していく学生と、やや社会人としてのスタートが遅れてしまう卒業生が出ます。後者の数が増えてきていることに対し危惧をいただいています。そこで5年間の学生生活を通して、まずは学生自身が学力・体力・気力・包容力・忍耐力などを併せ持つバランスの良い人間になる気持を持ち、鍛錬、努力してほしいと思います。5年一貫教育では中だるみが生じることもありますが、電子機械工学科では技術者をめざして勉学に励める学習環境と意欲を持って取り組めるようなモチベーションを持たせる方策を考えています。具体的には、低学年への企業情報の提供、各種資格と職務の関係およびその受験の手助け、さらに技術士へのアプローチである技術士の一次試験を意識させる取組、また読書の時間や研究発表会などを通して、物事に対する自分の考えをまとめる力やそれを人前で話す能力を磨けるような機会を増やすことなどを考えています。学科がまとまって学生の総合力向上に務めたいと思います。

一方、学校・学科のおかれている環境も厳しいものがあり、独立行政法人化、学校の格を問われるJABEEの問題、専攻科の問題、研究と教育の外部評価の問題など問題が山積しています。学校・学科の議論を通して少しでも前進するよう努力していきたいと思っています。

最近では仕事や生活などのあらゆる分野でコンピュータが利用されています。書店ではコンピュータ関連は広いスペースを占め、多くの老若男女が占拠しています。しかしその殆どの方は情報工学に関してはアマチュアです。アマチュアの知識レベルは決して低くありませんが、自分の好きな、興味のあるところのみの偏ったつまみ食いの知識で許されません。



情報工学科では、情報基礎・ソフトウェア・ハードウェアおよびその応用分野をはじめそれらシステム開発上の品質・工程管理まで含む系統だったカリキュラムで教育を行っています。そのため、本学科の学生は卒業時には、情報工学分野の小さなゼネラリストであり、未来のスペシャリストの大きな卵になっているはずです。どの分野のスペシャリストを目指すかを、在学中に見つける人もいるでしょうが、多くの人は就職後まで待つことになるでしょう。

就職に関連して言えば、情報工学分野のスペシャリストは殆ど求められてないと断言します。情報工学だけでは何も出来ないからです。他分野に利用されることによって始めて価値が生れる技術なのです。

そのため情報工学出身の技術者（特にSE）には、他分野に対する理解力・適応力が求められ、英語・数学などの基礎学力を始めとし、一般教養や常識が必要です。そして何よりも人と会話ができることが最も重要な要件となってきます。

来年度から新学習指導要領により、普通科高校でも情報科目が設けられ、コンピュータ利用のみならず、情報系学生の科目であったコンピュータの基礎知識について学習が開始されます。

クラス定員40名の小さい競争を目標にせず、同学年の高専生は1万人、高校生・大学生は100万人いることを常に意識して下さい。弓削商船高専での5年間は人生の中では通過点でしかありません。

今、何をなすべきかおのずとわかってくるはずです。本校の教職員・施設の全ては学生が学ぶために存在します。大いに利用して下さい。

「自ら考え行動する学生」を待望して。

教育の問題が現在ほど多くの人たちの強い関心のまとなったことは、これまでなかったのではないのでしょうか。

国公立の小中学校では4月からのカリキュラムの3割・授業時間の2割削減、完全5日制と我々を取り巻く教育環境は急変しています。

ところで、99年の国際教育到達度評価学会から、日本の中学2年生の勉強時間は調査38カ国中下から3番目であり、さらに4割強の子供は校外では全く勉強していないというショッキングな結果が報告されています。

また、企業やマスコミでは「分数のできない・漢字が読めない大学生」と基礎学力の低下を指摘し、家庭や学校教育のありかたに警鐘を鳴らしています。

藤原正彦先生（お茶の水大学教授、数学）は「子供に漢字と九九を叩き込め」（文芸春秋）の中で、まず読み・書き・九九を叩き込んだ基礎の上にしか、個性もさらなる学力も育たないと断言しています。さらに、理数離れの原因については、「理数系の問題は机に向かってじっくり取り組むという面倒に耐えねば解けない。現代は我慢力を培うのが難しい時代であり、我慢力不足は読書離れの原因でもある。」と述べておられます。

奇しくも、斉藤孝著『声に出して読みたい日本語』がベストセラーに、また『三色ボールペンで読む日本語』『教科書から消えた唱歌・童謡』が読者の関心を集めています。

いまここにこれらを合わせ見ると、なぜか九九や漢字を覚えること、詩文を暗記したり、熟読することが勉学の基礎・基本の習得であると同時に、不撓不屈の精神力の育成に繋がるものであり、教育方法の不易の部分であると思えてならないのです。

本校でも1年生全クラスで朝の10分間読書を実施して、学生の自己教育力の育成を図っています。

総合教育科では、3年計画で、全教官の「研究授業」（公開授業）を実施し、一般科目をとおして基礎・基本を着実に身に付けさせスムーズに専門科目の学習へ進展していけるよう指導内容・指導方法を研究し、研修に勉めています。

学生諸君のさらなる活躍を期待しています。



図書館長 神谷正彦

一昔前の学生の履歴書、趣味欄は「読書・映画鑑賞・音楽鑑賞・ドライブ」が定番でしたが、どうも昨今は様子が変わってきたようです。

「読書」の対象になっていた単行本や新書、文庫を雑誌・コミックスが席卷してしまったかの感があります。ただ、あまりに視覚的要素に偏したもののばかりを手にしていると、本来、複雑な様相を持つような事象・事物を把握しにくくなるおそれが出てくるでしょう。もちろん、読書によってのみ、そうした複雑さが理解できるはずもありません。読書以外のさまざまな経験から得られる知識も必要なのは当然です。しかし一口に経験といっても、私たちが経験できることや経験から学びとれることがそんなに多いのでしょうか？たとえば、私たちは一生のうちにたいへん多くの人々と出会うと思いがちですが、ほんとうにそうでしょうか。さらに、その出会いが、お互いの理解にまで深められることは実は少ないのではないかと私は思っています。

学生のみなさんは卒業まで5年間クラス替えはありませんが、5年間とうとう最後まで話をすることがない相手がいませんか。いくつかグループができて、その中では好きなバンドのこととか、家族のこととかけっこういろいろ話すのに、別のグループの人とは挨拶する程度の関係だけ、ということがありませんか。

俗に「十人十色」などと言いますが、人の性格はさまざまです。その、いろいろなタイプの人が集まって社会を構成しているわけですから、そこで生きていくためには人を理解しなければならない。しかし、現実にはそれほど多くの人とは理解しあえない。実は、読書は**そういう状況**でこそ生きてくるのです。

私はここで「人とうまくつきあう法」のような実用書のことを言っているわけではありません。一見「ためにならない」ように思われる、文学作品がかえって人間そのものを理解する近道ですよ、ということをお願いいたします。

例をあげれば、「山月記」の「李徴」・「羅生門」の「下人」・「高瀬舟」の「喜助」・「こころ」の「私」・「沈黙」の「フェレイラ司祭」・「鼻」の「禅智内供」・「城の崎にて」の主人公など、文学は人間の真実を追及してゆきます。これらの人間の性情はけっして特異なものではありません。悪への誘惑に負けたり、高すぎる自尊心で破滅したり、エゴイズムを抑えきれなかったりという弱さや、貧しいながらもそれを分相応の暮らしと考える強さはむしろ人間共通ともとれます。それだけに読者すべての共感を呼び起こすことのできる場を文学が与えてくれるといってもいいでしょう。それもまた、「**出会い**」でしょう。

みなさんが図書館を「まだ見ぬ人との出会いの場」として活用してくださることを願ってやみません。



平成14年度学生会執行部一覧

会長	商船学科4年	山本 航平
副会長	電子機械工学科4年	金岡 俊樹
	情報工学科3年	八原 望
書記長	電子機械工学科4年	松本 史生
会計長	商船学科4年	藤原 亨
会計監査長	電子機械工学科4年	片山 雅史

学生会長の抱負

商船学科4年 山本 航平

学生会長になり、4月の入学式を初仕事に約2ヶ月間仕事をしてきて、学生会の大変さが身にしみて分かります。今年度の学生会は、私を含めてほとんどが、今まで学生会の経験がない人で構成されています。だからといって何もやらないわけにはいきません。

特に、今年度は弓削商船高専が当番校の四国地区総合文化祭とロボットコンテスト四国大会が弓削で行われることになっており、商船祭とあわせて3つのイベントを成功させなければなりません。そのためには各イベントの実行委員と学生会を中心に、学生一人一人の協力が必要なのです。

商船祭では実行委員と協力して、学生一人一人の意見を最大限活かしつつ、実行委員と学生会の斬新なアイデアで盛り上げたいと思います。

一年間という短い期間でたくさんのイベントが重なることは珍しいと思いますが、私を支えてくれている学生会メンバー、そして実行委員と学生一人一人の協力で各イベントを成功させようと思っております。



平成13年度 電子機械工学科， 情報工学科卒業式



平成14年3月8日，電子機械工学科（30名），情報工学科（31名）の卒業式が挙行されました。好天に恵まれ，和やかな中に厳粛さを保った雰囲気の中で式は行われ，一人一人卒業証書を手渡された後，各賞の授賞があり，来賓の祝辞，在校生代表村上伸一君の送辞に送られ，卒業生代表電子機械工学科5年村上謙介君の答辞を残し卒業生は旅立って行きました。

各賞受賞者

- 「特別精励賞」
電子機械工学科 村上 謙介
情報工学科 岡元 美波，郷原 慎也，長崎 孝一
村上 弘光
- 「精励賞」
電子機械工学科 赤瀬 勇樹，阿部 亮太，大石 雄三
岡野 克也，笠井麻衣子，児島聡一郎
福田 英次，前田 規敬，松井 星子
松本 智晴，村上 大輔，村上 怜也
情報工学科 阿部 幸恵，安藤 美紀，金山 竜也
川本 諭，白石 浩一，田窪 恭子
林 浩二，藤澤 英雄，眞鍋 勇志
元森 龍太，タイ チイ ミン
- 「体育功労賞」
【陸上部】
電子機械工学科 藤井 健輔，前田 規敬，松本 昌之
情報工学科 眞部 勇志
【女子バレー部】
情報工学科 安藤 美紀，岡野 宏美
【ソフトテニス部】
情報工学科 阿部 幸恵
【卓球部】
電子機械工学科 児島聡一郎
情報工学科 藤澤 英雄，村上 貴康
【野球部】
電子機械工学科 黒瀬 健介，福田 英次
情報工学科 河本 樹也，林 浩二，山岡 準
【テニス部】
電子機械工学科 大石 雄三，村上 謙介
情報工学科 中本 翔
- 「文化功労賞」
【美術部】
電子機械工学科 松井 星子
【ロボット制作部】
電子機械工学科 松井 星子，松本 智晴
【マイコン部】
情報工学科 川本 諭，郷原 慎也，白石 浩一
田窪 恭子，村上 弘光，元森 龍太
- 「日本機械学会 昌山賞」
電子機械工学科 松井 星子

「電気学会・電子通信情報学会・
情報処理学会四国支部奨励賞」
電子機械工学科 福田 英次
情報工学科 村上 貴恵

情報処理学会四国支部シンポジウム 第1回ソフトウェアコンテスト

東芝プロセスエンジニアリング 元森 龍太
(情報工学科卒業)

卒業式からちょうど1週間後である3月15日に情報処理学会のソフトウェアコンテストが香川大学工学部でありました。ソフトウェアコンテストとは，自分たちの作ったソフトウェアをポスターセッション形式で発表して，その発表とソフトウェアの出来具合で審査されるというものです。

私たちはプログラミングコンテストに出品した作品である，『手入れ機能を重視した乗馬体験システムの試作（ProjectU）』をこのソフトウェアコンテストでも出品しました。

学会発表に作品を出すことと決めた日から卒業研究と平行して発表の準備を進めてきました。卒業式が終わった後も発表練習などで学校へ通う毎日が続きました。

発表当日，ほかの出展者の作品を見ると，非常に高度な内容の作品ばかりで場違いな感じがしていました。発表が始まると，発表者が練習時よりもうまく発表してくれていい感じで審査委員の質疑に答えてきました。

結果発表の時，私たちは賞を取ることはできないだろうなと思いながら結果を聞き続けていました。なかなか名前が出ずやっぱり無理だなと思っていた矢先，「最優秀賞 弓削商船…」と呼ばれて驚きました。

このような結果を得ることができたのも皆が協力しているいろいろな準備をしてきたからだと思います。

平成14年度入学式



平成14年4月9日，新入生126名，留学生3名，4年次編入生9名，計138名の入学式が，西垣新校長をはじめ，来賓，保護者，教職員など列席のもと，午前10時から開催された。

一人ずつ順番に新入生の名前が新担任から呼びあげられ，校長から入学許可がなされた。その後，校長から式辞が，また町長，後援会会長などから祝辞が述べられた。また，祝電が披露された後，本校在校生を代表して山本学生会長から歓迎の挨拶がなされ，入学生を代表して電子機械工学科1年山内君から答辞が述べられた。

平成14年度入学試験の状況

	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
商船学科	40	40	40	33(1)
電子機械工学科	69	67	61	47(4)
情報工学科	93	91	85	46(25)

()内は女子学生数

後援会長祝辞（入学式）

弓削商船高専後援会会長 原 田 等

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

100年を超える歴史と伝統ある弓削商船高等専門学校に入学された皆さんに本校の後援会を代表して一言御祝を申し上げます。

9年間の義務教育を終え入学される126名、高校を終え編入される9名、国境を超え留学される3名を含む138名の皆さんの心中は、それぞれ年齢や目標は違えど大きなことをやり遂げた達成感や満足感に浸っていることでしょう。しかし、今日からは心を新たにし、本校の学生として多少の不安もあるかと思いますが、輝かしいスタートを切っていただきたいのです。

さて、本校は言うまでもなく高度な専門分野を勉強し、究めて行く学び舎であります。情熱を持った多くの教官や事務官がいます。勉強をするにはすばらしい環境や地域にあると思います。

私自身32年前のこの日が思い出されますが、この年になり、もっと勉強しておけばよかったと反省させられることもしばしばですが、そればかりではありませんでした。連日のクラブ活動、寮生活で得た友人、先輩、後輩が今も私にとっては大きな財産となっているようです。

勉強はもちろん大切ですが、しっかりとした目標を持ち、自分を見つめ、自分を作るという大事な時期ですから先生や友人の助言にも耳を傾けてください。君たちを待ち受ける未来はさらに厳しい時代となるでしょう。しかしそれを受け止める知識、体力を養ってください。

最後に保護者の皆様、お子様のご入学、誠にありがとうございます。心からお喜び申し上げます。新入生の皆さんの一層の飛躍とご健康を願い、私の好きな言葉を贈ります。

「若者よ、青春の夢に忠実であれ」



新入生オリエンテーションの感想

商船学科1年 植 川 陽 介

自分は正じきこのオリエンテーションには来たくはなかった。まだ話すことのできる友達なんかほとんどいなかったし、やる気もほとんどなかった。でも今思えばこのオリエンテーションに参加して良かった。今まで話すことのできなかった人達とだいぶ話すことができた。



オリエンテーション初日、寮から青年の家まで、だれ一人ともしゃべらなかつた。その後も楽しいと思う事はあまりなかつた。夕食を終えて、ふろに入って。でもそれから、自分はシーツ係なのでシーツをとりに行き、他の班のシーツ係の子としゃべる事が出来た。その子は自分の入ろうとしていた野球部に入る子だったので話が合い友達になった。とてもうれしかった。

そして2日目は、フィールドラリーで、4人一組の班で始まった。その班の子達の中で1人は友達になっていた。でもあとの2人は2・3回しか話すことができていなかった。しかし、いろいろな問題を解いていくうちに、あとの2人も普通に話すことが出来るようになった。そしてこのフィールドラリーが終わった後、たくさんの子たちとソフトボールをした。とてもたのしくて、夢中になっているうちにみんなとはもう、うちとけていた。夕食も、ふろもみんなと楽しくする事が出来て、本当に良かった。部屋に帰っても、部屋の子達と話すことが出来た。

本当に行きたくなかつたオリエンテーションがこんなに楽しくなるなんて思っていなかつた。友達もけっこう出来てうれしかった。

オリエンテーションに参加して良かったと思います。

電子機械工学科1年 杉 野 祥 平

オリエンテーション初日、朝8時20分に寮を出発し、船で土生港へ、そして土生港からはバスで青年の家へ向かった。きつと楽しいだろうと思いつながら。バスにのって1時間くらいで青年の家についた。そこは、僕が思っていたよりもきれいな所だったが、とても寒かった。寒い体育館で入所式が行われた。11時40分ぐらいに食堂で昼食を食べた。昼食はまあまあだった。13時から、教養娯楽室で亀山総合教育科長さんが特別講演をしてくれた。その内容の一つは忘れてしまったが、目標を持って勉学に励む、そんな感じの事だった。ためになる事を話してくれた亀山総合教育科長さんには申し訳ない。



14時30分からは、あいさつ、礼、校歌の指導をしていただいた。校歌をみんなの前で歌うのは、恥ずかしく、こえが小さくなった。16時からは、フリータイムだった。僕は、部屋で1人でいた。

新担任の抱負

第1学年

商船学科1年担任 鈴木利幸

商船学科1年の33名をお預かりし、あっという間に2ヶ月が経ちました。毎日始業前に「朝の10分間読書」を1年生合同で行っていますが、これは、学生諸君はもとより、通学生のご家庭のご協力のおかげです。ありがとうございます。

学級目標は、「けじめ、活気、笑顔」に決まりました。この目標に向けて、一人一人が自分自身に誇りと自信を持って成長していけるよう、手助けしていきたいと思っております。



電子機械工学科1年担任 久保康幸

いろいろ望めばきりが無いが最低限、学生には、この学校へ入学したことが無駄にならないようにして欲しい。クラブへの入部式から数週間過ぎた。一度入部したクラブを退部する学生も出始めた。そのクラブが合わないなら、それもいだろう。学生の本分は、学業であるから、その分、学業に専念してくれればよい。反対に、勉強をしない者は、それ以外の(クラブ活動、友人関係などの)理由で在学し続ける必要はないと考える。(他の先生はどう思っているだろう?)

高専の教育は義務教育ではないのだから、学校を本来の勉強する場として活用して欲しい。担任としても微力ながらそのための協力をしなければならぬと責任を感じているところです。



情報工学科1年担任 上江憲治

先日、クラス全体でホームルームの年間計画を作りました。前回担任したクラスでは準備に時間がかかり過ぎて、予定したテーマの半分程度しか実施できませんでした。今回はその反省のうえに、クラスの皆さんと密接に連絡を取って、活発で充実したホームルームにしたいと考えています。クラスの46人の中にもいろいろな人がいます。クラスの皆さんには、ホームルームを重ねる中で、自分、あるいは自分たちと違うものを排斥するのではなく、いろいろな考え方を持った人がいることを面白いと感じるようになって欲しいと考えています。



まだみんなとなじめず、話す事もできなかったので、1人でベットで横になっていた。その時は寂しい気持ちで一杯だった。17時からは、食事、風呂だった。19時30分からはクラス別会で自己紹介をした。21時からフリータイム、22時から就寝準備だったが僕は寂しさを紛らわせるためにすぐに寝た。

2日目、朝から調子が悪くなり、朝食を抜いた。その日は、フィールドラリーがあったので、昼食は、無理をして食べた。僕達のチームは、最初から道を間違えてだいぶ遅れをとった。しかし、マイペースで課題問題をクリアしていった。この日まで全然運動していなかったので、すぐにバテてしまった。途中雨が降って来たが、競技は続行され無事に全チームがゴールできた。夕食は食べる事ができなかった。19時30分頃にフィールドラリーの表彰式があった。僕達のチームは、ギリギリ10位に入っていた。学校についての説明を受けた後すぐに就寝した。

3日目、精神的に疲れていて、朝食は、水だけとった。みんなは、とても元気そうだった。僕は、この宿舎に来て疲れたことばかりで、正直とてもしんどい日々だった。どこかで挫折してしまいそうな気がするが、これに負けずにがんばろうと思う。

情報工学科1年 大西美加

私は、自分の出身中学校から弓削商船高専に入学した子がいなかったのが、初めはとても不安でした。寮に入り、少し友達ができ、うれしかったけど、通学生の子と上手にやれるか心配でした。入学式の次の日が自然の家なので、同じ班の子と話せるか、すごく緊張しました。

1日目は不安で、この日がこなかったらいいのに、と思っていました。でも班の子と仲良くなり、2日目、3日目はあっという間でした。2日目になると1日目の不安はなくなりもっとここにいたい、と思うようになり、みんなで協力したフィールドラリーは、山道はかわしく、つかれたけれど本当に楽しかったです。自分達の班が3位になれたのも、班員のおかげだと思います。

先生方の話は一つ一つがこれからの自分にとってとてもためになりました。亀山先生の話では、自由の中でも規則を守り、よく先生方の使う言葉の「やればできる!」という本当の意味を知ることができ、他の先生方の話も、基本的なことなんだけど今の自分にはできていないことを改めて感じさせられるものでした。

初めは不安だらけで、自分の行きたい学校だったので少し嫌になっていました。でも、この自然の家があったおかげで、みんなと友達になり、楽しかったし、勉強という不安などは残るけど、大きな不安の一つがなくなり、これからの高専生活を楽しくしていきたい、と思うようになりました。自然の家が入学式の次の日で本当によかったと思います。これからは新しい友達と一緒にがんばっていききたいと思います。



第2学年

商船学科2年担任 多田光男

総合教育科横田教官の後を受けて、商船学科2年生の担任を受け持つことになりました多田光男です。よろしくお願ひいたします。所属は商船学科、担当教科は海上交通法、船舶安全工学、情報処理などです。2学年はちょうど担当教科の空白地帯で、クラスの学生と授業で接することができません。その分、特別教育活動などには力を入れて、クラスの学生諸君とできるだけ交流を持とうとがんばっています。クラスの学生には「T(時)P(場所)O(場合)」に応じたけじめある行動がとれる」ように、微力ながら指導していきたいと思っています。



電子機械工学科2年担任 神谷正彦

Q. 本校に赴任したのはいつごろですか。

A. もうずいぶん前になりましたが、まだ昭和のころです。

Q. その時の本校の印象はどうでしたか。

A. 今とはずいぶん違っていました。女子学生はいませんでしたし、全学全寮制だったので今とは別の意味で活気がありましたね。良かったことは二つあって、まず教科内容が自由に決められたこと。また、静かな田舎町だったことです。私は名古屋の出身ですが、祖母の家が田舎の農家だったのでよく遊びにいきました。そのころから、田舎が自分に合っていると思い始めたのです。

Q. モットーをどうぞ。

A. 簡単ですが「お世話になった人に感謝、お世話になっている人に感謝、お世話になるかもしれない人に感謝」でしょうか。好きな言葉は「野にして粗だが卑ではない」です。



情報工学科2年担任 高木 洋

2年生という時期は、学校にも慣れ、まだ専門科目も多くなく、色々なことに挑戦するには最適だと思います。勉強やクラブ活動だけでなく、各種資格、検定試験の受験や学生会活動、趣味を極めるのもいいでしょう。しかし、どんなことでも楽しむためには自ら判断し、積極的に動くことが大切です。

皆さんには、周りから与えられたことだけでなく、自らの判断で行動できるようになってもらいたいと考えています。



第3学年

商船学科3年担任 高岡俊輔

まず、私の簡単な自己紹介から行います。私は九州の福岡県出身です。福岡といっても市内から大きく外れた筑豊炭田のあった直方市という所の生まれです。

さて、ひよんな事から中学時代に船に興味を持ち、現在に至るまで船の道一筋にきました。そして、今回、商船学科3年の担任を持つことになったわけです。ここで抱負と言っては大きですが、つぎの1つだけを学生諸君にこの1年、浸透させたいと思っています。それは「自分のやっていることの1つ先を考えて行動する」ということです。授業に興味がないからといって休んでいれどなるか！、気に食わない奴だからといって暴力を振るえどなるか！、また、今、頑張っていれば今後どのような道が開けるかなどを行動を起こす前に考えてほしいと思うのです。そうすれば、高専生活の後半、少々の荒波が押し寄せてきたとしても乗り切れると思います。私からはこれだけです。商船学科3年の学生諸君、頑張ってください。



電子機械工学科3年担任 益崎真治

4月から突然3年生の担任をすることになった益崎です。短い書面でクラス運営と方針などについて一言あいさつさせていただけます。まずクラスでは、教室の掃除はもちろん茶髪、ピアスをなくしていくことをおこないます。学校ではこのような子は式典に出席させないといいながらもなかなか徹底できませんが、学校全体のバランスからいっぺんには無理ですが、ひどい学生から徹底していきます。現に初日に一人黒に染めてきた子がいます。大きな進歩です。次にクラスで注意することは他人に無関心な子が数人いるようです。これは本当の友達のできない寂しい子です。このような子をなくしいじめ等が起きないクラスにしたいと思っています。よろしくご協力ください。



情報工学科3年担任 山尾徳雄

3年生の担任は久しぶりで、5年制の学校においては、3年時に中だるみ現象が起こりがちです。本校も例外ではないと思います。入社試験の時期が早くなった今日ではそれは大きなハンディとなると思われます。既に実施中ですが、この一年間を自分が将来やりたいと思う職種を探す1年間にしよう指導しています。勉強がおろそかにならず、就職試験に遅れないためにもぜひこの事に取り組んでもらいたいと思っておりますので御家庭においても御指導をよろしくお願い致します。



第4学年

商船学科4年担任 岩堀宏治

4年生は名実ともに高学年生となって、これからレベルアップと内面の充実に励む時期です。高等教育機関の学生として、4学年を修了する学年末までには、接して「爽やかで気持ちの良い学生」であり、行動面では「常識を弁えて、公德心のある行動が出来、人に思い遣りの気持ちを持って接する事の出来る学生」に成長していて欲しいと考えています。



電子機械工学科4年担任 瀬瀨喜信

高等専門学校の学生というと、その年齢の幅が広く、学生自身の成長ももっとも著しい年代にあたります。それだけに学生にはいろんなことや人からできるだけ多くのことを学んでほしいと思います、また私自身も同じようにいろんなことを学んでいきたいと思っています。



できることなら学生とお互いに学び向上していけるような関係を築きたいと願っています。

最後に、様々な面において、まだまだ若輩者のすることですので至らない点多々あることと思います。諸先生、職員、保護者の皆様方、今後ともいろいろご指導くださいますよう宜しくお願いいたします。

情報工学科4年担任 長尾和彦

数年ぶりの担任を拜命するにあたって考えた。彼らが何を必要としているか。

3年次に担当した授業では、彼らのペースを十分に反映することができず反省することが多かった。いかにして、彼らの求めているものを知り、与えるか、自分にそれができるか。本年度、自分に課せられた課題であると感じている。

しかし、自分には1つの希望がある。これまで担任したクラスや卒業研究で関わった多くの学生との間には、楽しい記憶が満ちあふれている。このクラスともいい思い出を作りたい。

4年次は、夏季会社実習、航海実習と大きな行事がめじろ押しである。これらの行事に各自が積極的に参加し、自分たちのために努力することを体験してもらいたいと考えている。

さて、就職難が叫ばれている昨今、学生各自には自分の足りない部分を自覚し、改善するきっかけが必要だ。まずは、朝の読書、実習のための作文から始めたい。学生たちに与えてもらった思いを糧にして。



第5学年

商船学科5年担任 友田進

厳しい就職状況の中での進路指導が中心になります。商船学科の場合、卒業まであと1年半程残されていますが、外航船員になるための入社試験は年々早まりつつあります。工業系の同級生と同様、進路については「既に足元に火がついている状態」と言えます。従って、本年度の目標は就職や進学の難しさを自ら体験してもらうために、会社や大学の訪問を出来る限り早い時期に実施させることです。

商船学科5年生の諸君、一丸となって就職難を打開しましょう。



電子機械工学科5年担任 高尾健一

5年生は就職戦線真っ只中です。十分な準備が出来ていた学生は順調に内定通知を受け取っていますが、そうでない学生や不幸にして過大な競争に巻き込まれた学生は不合格となっているようです。今年は年度始めに「自分史」というタイトルで学生に作文を書いてもらいました。これまで各自が生きてきた過程を見



つめなおすとともに、今後どのように生きていくべきかを考えるよいチャンスだったと思います。作文の練習になるとともに、履歴書を書くとき大いに役立った学生もいました。「自分史」は私にとっても学生の内面を窺い知るよいチャンスであり、進路指導に大変役立っています。ささやかではありますが、5年担任としての新しい試みを紹介しました。

情報工学科5年担任 葛 目 幸 一

本年より進路指導担当の任命を受け、学生達の就職相談、企業への対応に毎日追われています。今年は特にIT不況の中、企業は採用人数を減らす傾向にあり就職は激戦状態にあります。しかし、不況の中入社した学生は、必ず会社で有能な人材に育つと言われており、是非ともこの逆境をバネに人間的にも成長して欲しいと思います。就職試験では、学業だけではなく5年間どのような学生生活を送ったかが問われます。そのためには、クラブ活動やボランティア活動などを通して、自分だけにしか語れないことを体験することが必要です。
“5年生諸君!! ゴールはすぐそこです。夢を持ってがんばれ!!”



新任教職員の紹介

電子機械工学科 田 頭 章 司

担当教科 工作実習Ⅰ・Ⅱ，
工学実験Ⅱ，
シーケンス制御
趣 味 アマチュア無線・
スキー



弓削商船高専に赴任して、早1月余りが過ぎました。

私は、広島県内の工業高校で31年間工業（電気）の教員として、勤めて参りました。その間、色々の事を経験して参りました。

特に、クラブ顧問として、金沢・熊本など遠くに遠征試合に行き、他県の多くの高校生や大学生と接してきました。また、10年前よりロボット相撲に興味を持ち、ロボットの製作・大会への出場や企画運営等にもたずさわってきました。その中で、色々なアイデアを見て参りました。

今年度は、本校において四国地区高専のロボット大会が実施されるそうです。少しでもアイデア等アドバイスが出来ればと思います。

最後になりましたが、自らの道を拓くのは常に模索と冒険、失敗をおそれぬ勇気そして学びを忘れぬ心です。

一生懸命努力する所存ですので、お互い頑張りましょう。どうぞよろしくお願い致します。

事 務 官

- 庶務課長（香川大学総務部人事課任用係長） 後藤 文郎
 庶務課庶務係長（会計課総務係長） 梅林 勇蔵
 庶務課図書係長（会計課出納係長） 東 嘉美
 会計課総務係長（学生課教務係長） 左高 武實
 会計課出納係長（愛媛大学経理部契約室契約第三係主任） 井上 哲雄
 会計課用度係長（広島大学経理部契約課契約第四係契約主任） 岡門 宏治
 会計課施設係長（愛媛大学施設部施設課電気係主任） 中川 清憲
 学生課教務係長（学生課学生係長） 西倉 寿
 学生課学生係長（広島大学総合科学部教務係教務主任） 中村 恒次
 学生課寮務係長（愛媛大学農学部用度係主任） 田窪 康博
 学生課実験実習第二係長
 （学生課技術専門職員） 竹林 安吉
 学生課教務係教務情報主任
 （学生課学生係学生主任） 加藤 進
 学生課学生係学生主任
 （愛媛大学農学部用度係主任） 奥本 孝一
 学生課実験実習第二係 中務 隼人
 （ ）内は前職
 事務補佐員（庶務課庶務係） 大西 弘恵
 事務補佐員（学生課教務係） 森本 真世
 技術補佐員（学生課実験実習第一係練習船弓削丸二等機関士） 堀田 昌弘
 （ ）内は配置先

留学生紹介

本年度は3名の留学生が本校3年次に編入学しました。留学生に母国のことや日本の印象などについて聞きました。

Truong Ha Hong (ハー君)
商船学科

(1) ベトナム (2) ハノイ
(3) 8,300万人 (4) 仏教
(5) 漆器 (6) 春巻き, ファー
(うどんのようなもの)
(7) 静かなところですね。遊ぶ所もないので勉強するにはいい環境ですが, 少し不便です。(8) ベトナムと比べると学校の授業が長いです。精一杯頑張ります。



Burhanuddin Bin Noh
(ブハヌディン君) 商船学科

(1) マレーシア (2) クアラルンプル (3) 2,300万人
(4) イスラム教 (5) 石油, ゴム (6) カレー, ナン (7) さびしいところで何もありません。でも砂がきれいです。
(8) 少し勉強し, たくさん遊びたいです。弓削の女子学生とも友達になりたいです。国際交流にも参加したいです。



Nitin Kumar (ニティン君)
情報工学科

(1) フィジー (2) スーパー
(3) 50万人 (4) ヒンズー教
(5) 砂糖, 金, 観光 (6) インド料理, ナン (7) とても不便なところですが海はきれいです。学生達はやさしいし学校は楽しいです。(8) しっかり勉強して卒業し, 大学へ進学したいです。



質問事項

- (1) 出身国 (2) 首都 (3) 人口
 - (4) 宗教 (5) 特産物, 産業
 - (6) 料理 (7) 弓削の印象は?
 - (8) 今後の抱負を聞かせてください。
- ()内は呼び名です。

新編入学生紹介

電子機械工学科に7名, 情報工学科に2名の学生が本校4年次に編入学しました。編入学生の弓削での印象, 抱負を聞いてみました。

電子機械工学科4年(7名)

清水 剛(新居浜工業高等学校)
大川 雅史(松山工業高等学校)
菅 誠吾(松山工業高等学校)
伊藤 恵人(松山工業高等学校)
大崎 陽之(松山工業高等学校)
富田 秀次(熊本工業高等学校)
五島 徹也(貞光工業高等学校)



情報工学科4年(2名)

森 一也(松山工業高等学校)
新谷 知己(松山工業高等学校)



()内は出身の高等学校名です。

下記は, 編入学生達の声です。

- * 勉強の面で少しでもいい成績を残せたらと思います。よろしくお願いします。
- * 最初は戸惑うことも多かったですが, クラスのみんなも気さくで, 話しやすい雰囲気をつくってくれ, 弓削にとけ込むにはあまり時間はかかりませんでした。勉強に部活に2年間がんばりたいです。
- * 授業が難しいけれど頑張って卒業したいと思います。
- * 広島カープの前田先輩もベナントレーズで頑張っているのだから, それに負けなくらい頑張れたらと思っています。
- * 高校時代よりベースをやっています。上手な人がいたら教えてください。
- * 授業がむづかしい。誰か教えてください。

クラブ活動成績

[第23回四国地区高等専門学校駅伝大会]

期 日 2月2日(土)・3日(日)
場 所 高知高専
成 績 3位 1時間50分28秒

女子の部

2位 14分33秒 松野 祐果

[第45回弓削町駅伝大会]

期 日 2月11日(月)
場 所 弓削町
成 績
高校・一般の部 2位 1時間27分4秒

[第18回福山市議会議長杯シングルテニス大会]

期 日 3月17日(日)
場 所 竹ヶ端,びんご運動公園
成 績
女子Cクラス 3位 I 4 古江 綾子
女子Dクラス 2位 I 4 尼子 順子

[トークス杯シングルテニス大会]

期 日 4月27日(土)
場 所 尾道びんご運動公園
成 績
女子C級 優勝 I 5 尼子 順子

[第5回弓削島親善テニス大会]

期 日 5月26日(日)
場 所 学寮コート,弓削ロッジコート
成 績
男子Bクラス 準優勝 M 5 村本 智貴
S 3 内藤 宣二
女子Dクラス 優勝 I 3 原 瑠美
I 2 山本衣里佳

[第26回高校囲碁選手権大会愛媛県予選]

期 日 5月26日(日)
場 所 松山東高校
成 績
個人戦 優勝 M 1 峯松 昌彦
全国大会出場予定

資格試験等合格者

海技士筆記試験

2級

S 5 上井 博明,川原 義裕,齋藤 克浩

パーソナルコンピュータ利用技術認定試験

3級

I 5 赤尾 和英,岩本 章子,松浦 加奈
村上 由理

I 4 大野 萌,越智 留美,矢野 知里

4級

I 5 岩本 章子,山本 晃央

I 4 岡野 哲子,白石 秀忠,平松 厚之

I 3 中西 美陽

日本語文書処理技能検定試験

3級

I 3 野口登士行

I 3 村上あかり

実用英語技能検定試験

準2級

M 4 山田 朋子

乙種第4類危険物取扱者

M 5 古本 悠一

第1級海上特殊無線技士

S 5 ランディ

第3級海上無線通信士

S 5 村上 伸一

各種資格試験の相談窓口

本校では、就職上・進学上のメリット、授業・勉学の活性化などの観点から、資格取得を奨励しています。本校で受験のお世話をしている資格試験名とその窓口は以下のとおりです。

資格試験名	受験相談窓口	願書提出窓口
* パソコン利用技術認定	情報処理教育センター	情報処理教育センター
* ワープロ技能検定	情報処理教育センター	情報処理教育センター
* 基本情報技術者	情報処理教育センター	情報処理教育センター
漢字検定	亀山教官 神谷教官	亀山教官 神谷教官
実用英語技能検定	上江教官	上江教官
海技士	中教官	
小型船舶操縦士	多田光男教官	多田光男教官
海上無線通信士	多田光男教官	多田光男教官
* 工業英語能力検定	葛目教官 山田教官	葛目教官 山田教官
数学能力検定	藤井教官	
TOEIC	野口教官	
電気工事士	田頭教官	
電気主任技術者	田頭教官	
ボイラー技士	松永教官	松永教官
危険物取扱者	松永教官	松永教官
潜水士	松下教官	
スキューバダイバー	松下教官	
CAD 検定	中山教官	
画像情報検定	塚本教官	塚本教官
・CG		
・画像処理		
・マルチメディア		

* 本校試験会場

「学生相談室について」

カウンセラー 中村 慎

はじめまして、中村慎（まこと）です。今年度からスクールカウンセラーとして、週に一度、木曜日の12:00～18:00に学生相談室にまいります。毎週、片道2時間半の小旅行を楽しみながら通っています。



さて、スクールカウンセラーって一体何をするの？とか「カウンセリング」とは一体どういうものなのかよくわからないと思われる方も居られるのではないのでしょうか？

そこでこの場をお借りして「カウンセリング」のいくつか特徴を挙げてみたいと思います。

- (1) 来談者の困っていること、悩みなどの解決を目指して、カウンセラーと来談者が（基本的に）時間を決めて一対一で話しあう。
- (2) カウンセラーは来談者の話を共感的に聞き、意見を押し付けない。
- (3) 希望があれば何度でも話し合うことができる。
- (4) カウンセリングで話されたことは誰にも漏れることがない。
- (5) 相談者の方が安心してお話ができる場を提供し、その中で来談者の方が少しずつ自分の心を整理できるようにお手伝いする。

このような特徴をもつカウンセリングは学生だけがサービスの対象なのかと思われるかもしれませんが、そうではありません。弓削商船の学生生活に関わる方全てが、私の提供することのできる心理臨床サービスの対象であると考えております。

微力ではありますが、弓削商船のためにお手伝いできればと思っております。何かお役に立てそうなことがございましたら「学生相談室」までご来談ください。

平成14年度 前期級長・副級長一覧

クラス・学年	級 長	副 級 長
商 船 学 科 1 年	島田 慶彦	岡本 省吾
電子機械工学科 1 年	大林 優介	山内 優暢
情報工学科 1 年	荒井 仁	池田 優子
商 船 学 科 2 年	寺島 裕之	中塚 敦史
電子機械工学科 2 年	石井 良一	前田 和也
情報工学科 2 年	澤村 智也	小牧 洋介
商 船 学 科 3 年	岡 直樹	千田 知里
電子機械工学科 3 年	吉原 邦武	豊田 真之
情報工学科 3 年	大高 佑介	村上あかり
商 船 学 科 4 年	大鼻 洋平	山口 慎吾
電子機械工学科 4 年	岡部 聖一	金岡 俊樹
情報工学科 4 年	白石 秀忠	西岡 勇介
商 船 学 科 5 年	山本 桂司	木床 聡
電子機械工学科 5 年	藤原 忠弘	古本 悠一
情報工学科 5 年	村上 真由	仙波 篤志

平成14年度 校内役職教官名簿

校 長	西垣 和
教 務 主 事	小川 量也
学 生 主 事	村上 健二
寮 務 主 事	濱中 俊一
商 船 学 科 長	中家 修
電子機械工学科長	鶴 秀登
情報工学科長	塚本 秀史
総合教育科長	亀山 和磨
図 書 館 長	神谷 正彦
練習船船長	地本 直弘
情報処理教育センター長	長尾 和彦
情報処理教育センター主任	高木 洋
視 聴 覚 教 室 長	堤 靖景
教 務 主 事 補	山尾 徳雄, 多田 光男
	高岡 俊輔, 鈴木 利幸
学 生 主 事 補	中山 恭秀, 長尾 和彦
	横田 臣博, 二村 彰
	藤井 温子
寮 務 主 事 補	瀬濤 喜信, 葛目 幸一
	上江 憲治, 藤井 清治
	久保 康幸, 野口 隆
	柳沢 修実, 田房 友典

バイク講習会



本校では、学生の自動二輪車（以下、バイク）通学指導のために例年、学校行事として第2学年を対象とした「バイク講習会」を開催している。本年度も伯方警察署の協力のもと4月11日に実施した。

当日、小雨が降る中、学校広場にポールを設置した練習場において、伯方警察署の白バイ隊員の方によるバイクの乗り降り、スラローム走行、急ブレーキ時の制動距離確認などの実技講習を受けた。学生は、白バイ隊員の方の指導に緊張感を持って真剣に取り組んだ。特に原動機付自転車の免許を所有している学生は、教習所での練習経験がほとんど無いことから、この講習は貴重な経験となった。実技講習の後、交通安全についての講話を行い、バイクに乗る事は常に危険が身に及ぶ可能性があるという意識を持つように呼びかけた。

バイク講習後、学生の交通安全についての意識は高まったと感じるが、重要な事は、この意識を継続していく事なので、学校側として定期的な指導を実行していく予定である。

第28回瀬戸内商船高等専門学校 2校定期戦

恒例の広島商船高等専門学校との定期戦が28回目を迎え、次のとおり開催されました。

期 日 平成14年5月18日(土)

場 所 弓削商船高等専門学校

広島商船高等専門学校

種 目	会 場		
	弓 削	廣 島	
卓球	×	0 - 5	
ソフトテニス	×	1 - 4	
サッカー	×	2 - 2 5 PK 6	
ラグビー		74 - 0	×
バレーボール(女子)		2 - 1	×
柔道	×	2 - 3	
硬式野球	×	1 - 21	

種 目	会 場		
	弓 削	廣 島	
剣道		3 - 2	×
バスケットボール(男子)	×	25 - 48	
陸上競技		123 - 87	×
テニス	×	0 - 3	
カッター		-	×
第1レース	1位 弓削Aチーム	9分21秒64	
	2位 広島Aチーム	9分26秒23	
第2レース	1位 弓削Bチーム	10分6秒56	
	2位 広島Bチーム	10分50秒80	

平成14年度 学 事 予 定 表

授業日 開校日 ×休業日

7 月				9 月			
1	月		追認試験(第3回)	1	日	×	寮生帰寮
2	火			2	月		全校集会(午前中短縮授業 午後平常授業)授業開始
3	水			3	火		
4	木		↓ S1救命講習5~7限	4	水		
5	金			5	木		
6	土	×		6	金		
7	日	×	後援会総会・保護者懇談会	7	土	×	体験航海
8	月		S3実験	8	日	×	
9	火			9	月		↓ S5席上課程修了試験
10	水		M1航海実習	10	火		↓
11	木			11	水		
12	金		(短縮授業)放課後 壮行会・結団式	12	木		S5卒研発表 教官会議(S5成績確認)
13	土	×	↓ 全国商船高専漕艇大会(大島)弓削丸運航	13	金		S5再試験 前期期末試験時間割発表
14	日	×		14	土	×	
15	月		(短縮授業)教官会議(追認試験結果)	15	日	×	敬老の日
16	火		(短縮授業)	16	月	×	休日
17	水		(短縮授業)	17	火		S5特別試験
18	木		(短縮授業)S5席上課程修了試験時間割発表	18	水		教官会議(S5席上課程修了認定)
19	金	×	四国地区高専総合体育大会(詫間)臨時休業	19	木		S5席上課程修了式
20	土	×	海の日	20	金		卒業式(商船学科)
21	日	×	↓ 夏季休業	21	土	×	
22	月	×		22	日	×	
23	火	×		23	月	×	秋分の日
24	水	×		24	火		(月曜日の授業)
25	木	×		25	水		前期期末試験 研究航海(3)
26	金	×	体験入学(弓削中,生名中)	26	木		研究航海(3)
27	土	×		27	金		
28	日	×		28	土	×	
29	月	×	編入学願書受付	29	日	×	
30	火	×		30	月		
31	水	×					
14日 0日 ×17日(臨休 1日)				18日 1日 ×11日(臨休 0日)			
8 月				10 月			
1	木	×	編入学願書受付 研究航海(2) 夏季休業	1	火		近隣中学校長説明会
2	金	×	↓	2	水		前期期末試験
3	土	×	全国高専体育大会(東北地区)	3	木		
4	日	×		4	金		↓
5	月	×		5	土	×	
6	火	×	(入学試験委員会)	6	日	×	
7	水	×		7	月		後期始業式(午前中短縮授業 午後平常授業) 級長・副級長任命式
8	木	×		8	火		M3航海実習
9	金	×		9	水		
10	土	×	海洋体験講座	10	木		
11	日	×	↓	11	金		S4E実験
12	月	×		12	土	×	↓ プログラミングコンテスト(石川)
13	火	×		13	日	×	
14	水	×		14	月	×	体育の日
15	木	×		15	火		
16	金	×		16	水		
17	土	×		17	木		
18	日	×		18	金		
19	月	×		19	土	×	
20	火	×		20	日	×	ロボットコンテスト四国地区大会(弓削)
21	水	×		21	月		
22	木	×		22	火		S3A航海実習
23	金	×		23	水		
24	土	×	洋上講座	24	木		
25	日	×	↓	25	金		S4E実験
26	月	×		26	土	×	
27	火	×	編入学試験	27	日	×	学校見学会 弓削丸運航
28	水	×		28	月		
29	木	×	入学試験委員会 教官会議	29	火		S3B航海実習
30	金	×	編入学合格発表	30	水		
31	土	×	↓	31	木		↓
0日 0日 ×31日(臨休 0日)				22日 0日 ×9日(臨休 0日)			